

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
基準日 定時株主総会 3月31日  
          期末配当金 3月31日  
          中間配当金 9月30日（※当事業年度の中間配当の予定はございません）  
公告の方法 電子公告により、当社ホームページ（<http://www.fujipream.co.jp>）に掲載いたします。  
          ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合には、  
          日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号  
（お問い合わせ先） 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
          電話 0120-094-777（通話料無料）

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店（下記ご注意ご参照）  
※株式関係のお手続き用紙のご請求は、  
次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。  
なお、株式電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお  
手続き用紙のみとなりますのでご注意ください。  
電話（通話料無料）  
0120-244-479（本店証券代行部）  
0120-684-479（大阪証券代行部）  
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

（ご注意）株主名簿管理人の「取次所」の定めについて  
株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。  
なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

【平成21年1月5日施行の株券電子化実施に伴うお知らせ】  
株券電子化に関する詳細につきましては、証券決済制度改革推進センターのホームページに掲載されたQ&A  
（<http://www.kessaicenter.com/kaikaku/kabuken10aa.pdf>）等をご参照ください。  
また、株券電子化に関するご質問・ご相談は、  
「株券電子化」なんでも相談窓口（「株券電子化コールセンター（\*）」）  
Tel. 0120-77-0915（通話料無料。平日・土曜/9:00～17:00）  
までお問い合わせください。  
（\*）株券電子化コールセンターは、（株）証券保管振替機構、日本証券業協会、（株）東京証券取引所が共同で運営する株券電子化について  
の相談窓口です。



フジプレミアム株式会社

〒671-2216 兵庫県姫路市飾西38-1 TEL.079-266-6161 FAX.079-266-6738



証券コード:4237

第27期中間年次報告書



株主、投資家の皆様へ

株主の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、フジプレアムグループの事業につきまして格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、プラズマテレビを中心とするフラットパネルディスプレイ関連部門、太陽電池モジュールの製造、システム販売を中心とするクリーン・エコエネルギー関連部門、そして創業以来一貫してモノづくりの原点を支え続け、当社技術力の代名詞でもあるメカテクノロジー・その他部門を合わせて事業を展開しております。

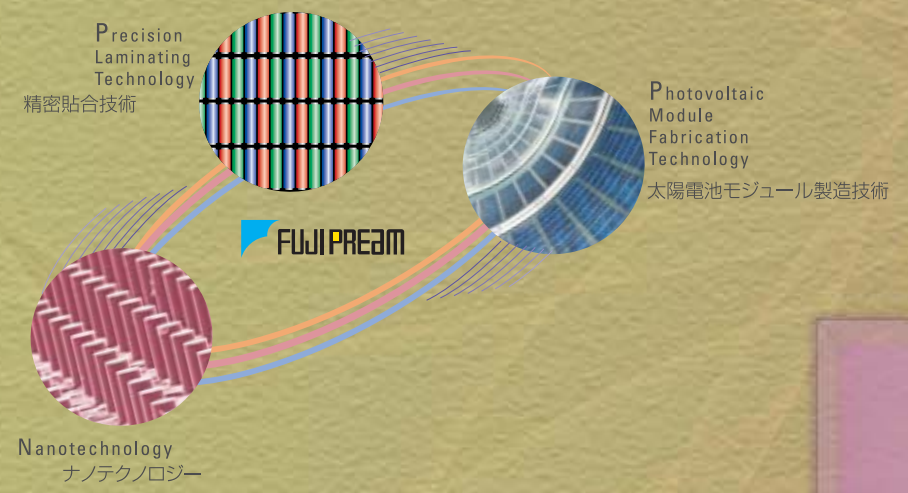
当上半期の当社業績は、テレビのデジタル化等の市場の活発化という変化だけではなく、業界内における様々な要因が重なり、予想を上回る生産要請を受けることとなり、当社は全社体制で受け入れ、取組んだ結果、十分にお答えすることが出来ました。今後も市場からの要請には幅があるでしょうが、独自開発した製造ラインに、より一層の磨きをかけてフレキシブルな体制で、自信を持って答えてまいります。

太陽光関連事業におきましては、世界中で事業として生き残るための選別が行われており、淘汰されるものと生き残るものとが明確になりつつあります。当社は、その中で「選ばれる企業」となる体制が整いました。材料面での需給バランスの変化にも柔軟に適応し、より良い選択をしながら前進してまいります。

この10月に行った子会社名の変更により、フジプレアムグループとしての団結力、競争力をより一層強化することが出来ます。そして、グループ総合力を強みとし、新しい取組みにも積極的に投資、研究し、また、創業以来のモノづくりの精神を忘れることなく、不可能への挑戦を続け、次世代社会に提供できる技術開発に向けて、誠心誠意尽くしてまいります。

株主、投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長  
**松本實藏**



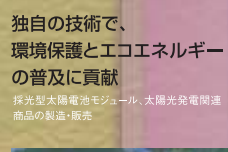
フジプレアムは、  
3つのコア技術で時代を拓きます。

フジプレアムは、研究開発型企業として3つのコア技術を基本に、時代と顧客のニーズに的確に応え、人々の豊かな暮らしに貢献することを目指しています。日々急速な進歩を遂げるディスプレイデバイス業界、持続可能な社会づくりに寄与するためのエコエネルギー市場、これからの未来を支えるナノテクノロジーの世界において、さらなる技術の向上と、新たな技術の取得に努めています。



最先端テクノロジーで、ディスプレイデバイス業界を牽引

PDP用光学フィルター、液晶偏光板フィルム等光学機能性フィルムに関する製品の製造・販売



独自の技術で、環境保護とエコエネルギーの普及に貢献

採光型太陽電池モジュール、太陽光発電関連商品の製造・販売



時代の基幹技術「ナノテクノロジー」を、産学官で共同研究

放射光による超微細加工技術の研究

Integrated Power of Fujipream Group

# 特集：フジプレアムグループ企業の戦略

- フジプレアム 代表取締役専務 牛尾哲之
- フジプレアム ソーラー販売 代表取締役社長 大川拓志
- 上海不二光学科技 董事・総経理 菊池隆夫
- フジプレアム商事 代表取締役 名村信彦
- フジプレアム ロジスティクス 取締役社長 塩谷右京



## グループの成長戦略について

(文中敬称略)

### ◆長期的な成長に向け新たな事業の柱を育成 フジプレアム・牛尾

このほど、グループ会社の社名変更を実施しました。これまで当社は、精密貼合(てんごう)技術を強みに、主力製品であるPDP(プラズマディスプレイパネル)用光学フィルターの拡大を中心に取組んできました。しかし、市場の拡大とともに競争は激化し、数年の後に、市場はピークを迎えることが予想されます。当社としては、長期的な成長に向け、主力製品以外に、新たな事業の柱を育てることが急務だと考えています。第2、第3の柱の育成を目指して、現在、研究開発に取り組んでいますが、それが、持続的成長を実現するための布石になると考えています。こうした中、それぞれの子会社の社名にフジプレアムの名前を冠することで、フジプレアムグループの連携を一層深め、新たなビジネスチャンスを獲得していきたいと思っています。

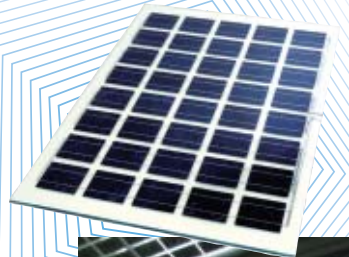
## グループ各社の事業展開について

### ◆第2の柱として有望な環境ビジネスを展開 フジプレアム ソーラー販売・大川

フジプレアム ソーラー販売は現在、太陽電池を中心とするシステム販売と、環境用品のソリューションを展開しています。フジプレアムでPDP用光学フィルターに続く柱として、現在1番の有力候補になっているのが、環境ビジネスです。その中でも、フジプレアムのコア技術である精密貼合という技術力を活かせる有望な分野が太陽電池だと思います。大手の太陽電池メーカーが生産しているのは量産型のもが中心ですが、当社が展開する太陽電池は、技術力やコスト面等から、量産化がしにくい建材一体型太陽電池モジュールです。国内では、来年、住宅用太陽光発電の補助制度が復活することが決まりました。各自治体からも環境に対する施策が打ち出され、市場の拡大が予想されます。太陽電池の伸びが高い海外市場では、欧米に加えてアジアでも環境意識が高まり、更なる成長が見込まれています。フジプレアムブランドは海外では、認知度がまだ低いと、当面は知名度向上に力を注ぎ、自社ブランド製品の拡大に取り組みたいと考えています。フジサンエナジーからフジプレアム ソーラー販売に社名を変更し、自社ブランドの浸透が図りやすくなったと思います。



ガラスとガラスにセルを挟んだ建材一体型太陽電池モジュール

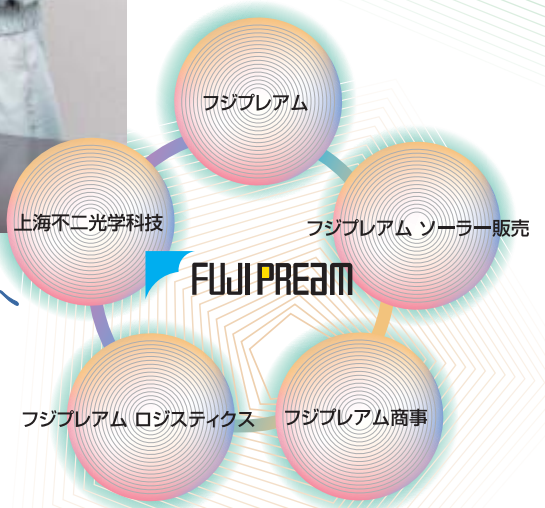


設置事例



## グループの連携をより深め、新たなビジネスチャンスの獲得へ

2008年10月1日、グループ会社のフジサンエナジーはフジプレアム ソーラー販売に、イマクルはフジプレアム ロジスティクスに社名を変更しました。この狙いは、フジプレアムグループの一員としての認知度を高め、グループのシナジー効果をより一層発揮するためのものです。「PRE」Vol.16の特集では、グループ会社の代表から今後の戦略等を聞きました。



# 特集：フジプレアムグループ企業の戦略

## ◆上海のPDP用光学フィルター専用加工工場、品質向上と人材育成に注力 上海不二光学科技・菊池



当社は2003年に中国政府から営業許可を受け、PDP用光学フィルターの専用加工工場として設立しました。今年で5周年を迎えましたが、出荷先は上海の外高橋保税區に進出している国内大手の電機メーカー向けが中心となっています。グループの主力工場は国内の光都工場ですが、上海はその補完機能を持った工場という位置付けです。現地の人材を教育するということは、大変なことでしたが、延べ150名の人材が育ってくれました。大規模な工場に比べて製造部門の他に総務、人事、財務部門等、あらゆる業務に携わるチャンスがあり、個々の能力を発揮しやすい環境だと思います。今後の方針として、第一に品質向上技術を

更に磨くことが重要だと考えています。現在、社内に、このようなスローガンを掲げています。「除提高産品質量以外、我们没有其他的道路可選択」これは、品質の向上以外に我々の進む道はない、という意味の中国語です。大手の電機メーカーに製品を納入するにあたり、フジプレアム製品なら安心だと言ってもらえるような、信頼を獲得したいと考えています。中国は今、4倍速と言われるほどの早い変化、成長を遂げています。その変化に対応しながら、上海市外高橋保税區の立地を生かし、確実にかつ、安定的に成果を上げていくことが肝要です。5年が経過し、今後は次のステップに進むための、強固な体制とシステム基盤を構築していくつもりです。中国の人々の考え方を理解、吸収した上で、事業の進化や高度化を図り、中国と共生していくことが大切なことだと、思っています。



上海工場

レフベアガラス



機能性フィルムを貼合した窓ガラス(左)  
貼合のない窓ガラス(右)



施工事例

## ◆資材の高騰等厳しい状況の中、防波堤となってグループに貢献 フジプレアム商事・名村

フジプレアム商事は、フジプレアムの購買課が分離独立して、平成18年に設立されました。主として、グループ向けの資材等の調達・供給を手掛けています。現在、この購買業務が売上高の60%前後を占めています。その他、太陽光発電応用商品の販売や建材商社又はサッシ建材メーカー向けに貼合商品の販売を行っています。原油や資材価格の高騰等から原材料の調達面では、ますます厳しい環境が続くとみられますが、当社がグループ全体の防波堤となつて、グループの成長に貢献したいと考えています。また、フジプレアムブランド販売の専門部隊として、当面は人材の確保と育成に取組み、営業力の強化を図りたいと思います。人とモノ、そしてアイデア、スピードをもって、企業価値の向上に取組みます。



## ◆貼合の製造部門を持つ強みを生かした提案営業活動を推進 フジプレアム ロジスティクス・塩谷

現在、当社の売上高の60%強を占めるのが運送部門です。2トン車から大型のトレーラーまで約60台を保有しています。フジプレアムグループの物流業務の請負比率が高いというイメージが強いかと思いますが、実は、グループ向けの売上高は20%強で、臨海地域の大手鉄鋼メーカー等幅広い顧客基盤を持っています。その他には、製造部門としてフジプレアムの原点ともいえるフィルム貼合を手掛けています。ビル等の窓ガラスや建材等の大型のフィルム貼合から、住宅設備機器、住宅設備資材等への機能性フィルムの貼合等で、これらを、フジプレアム商事を通じて販売しています。その他には、物流業務関係を中心とした人材派遣業を行っています。設立当初は40名足らずでスタートしましたが、現在では約150名体制に拡大しました。製造部門を持っている運送事業者は全国でも数少ないと思います。ものづくりの発想をベースに、他の運送業者にはできない提案力を強みとして、事業拡大を進めていきたいと考えています。



## 特集：フジプレアムグループ企業の戦略

### ◆大きな成長の可能性を秘めたグループ会社 フジプレアム・牛尾

グループ会社はそれぞれが大きな可能性を秘めています。環境ビジネスという大きなマーケットを対象とするフジプレアムソーラー販売等は、フジプレアム単体の売上高規模を超える潜在能力を持っているのではないのでしょうか。また、上海は現在のところは、PDP用光学フィルター専用加工工場ですが、上海の地の利を生かした、新しいものづくりに取組んでほしいですね。太陽電池等は上海を拠点としてアジアへ販売を拡大できる可能性があるのではないかと考えています。フジプレアム商事は、取扱商品の拡大による成長が期待できますし、フジプレアムロジスティクスは、社名変更によるシナジー効果が最も追求できるのではないかと考えています。子会社それぞれの成長が、グループ全体の成長につながっていくように、全社一丸となって取組んでいきたいと思っております。



[グループ企業の概要]

#### ◆フジプレアムソーラー販売株式会社

事業内容：太陽光発電システムを中心とした省エネ関連商品の設計・施工・販売  
本社所在地：兵庫県姫路市  
設立：平成13年4月

#### ◆上海不二光学科技有限公司

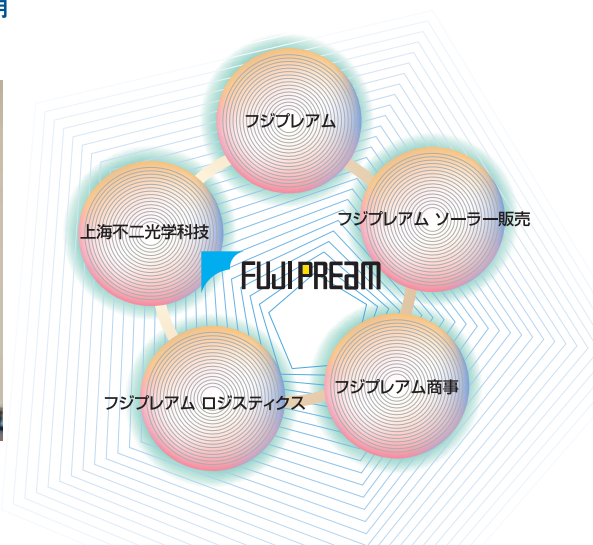
事業内容：PDP用光学フィルターの製造・販売  
本社所在地：上海市外高橋保稅区  
設立：平成15年9月

#### ◆フジプレアム商事株式会社

事業内容：太陽光関連・光学関連製商品の販売、グループの購買業務  
本社所在地：兵庫県姫路市  
設立：平成18年6月

#### ◆フジプレアムロジスティクス株式会社

事業内容：貨物自動車運送事業、人材派遣事業  
本社所在地：兵庫県高砂市  
設立：平成15年10月



## TOPICS トピックス

### TOPICS:1

#### 子会社の商号変更

10月1日、連結子会社のフジサンエナジー株式会社とイマクル株式会社は商号を変更いたしました。

フジサンエナジー株式会社  
【新商号】  
フジプレアムソーラー販売株式会社

イマクル株式会社  
【新商号】  
フジプレアムロジスティクス株式会社

【変更日】平成20年10月1日  
【変更理由】当該子会社の社名変更により、フジプレアムグループの一員としての認知度を高め、グループのシナジー効果をより一層発揮するためであります。

### TOPICS:2

#### 自己株式の取得状況について

平成20年10月1日から平成20年10月31日までの自己株式の取得状況は次の通りです。  
【取得株式数】113,000株  
【取得総額】38,252,200円  
【取得株式の累計】  
株式の総数 170,000株  
取得価額の総額 62,610,600円  
【自己株式の保有】  
自己株式総数 881,300株  
(平成20年11月7日時点)

※ご参考 自己株式取得の日程 平成20年8月26日～平成21年3月19日まで(平成20年8月25日付「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」より)

### TOPICS:3

#### 第2四半期決算を発表

11月7日、平成21年3月期第2四半期決算を発表いたしました。また、平成21年3月期第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)の業績について、平成20年5月16日に公表いたしました業績予想と差異が生じましたのでお知らせいたします。

#### ◆第2四半期連結累計業績 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回予想(A) <small>(平成20年5月16日公表)</small>	14,250	614	602	364
今回実績(B)	16,982	751	732	373
増減額(A-B)	2,732	137	129	8
増減率(%)	19.2	22.4	21.5	2.4
<small>(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)</small>	12,051	330	377	243

【差異の理由】

当社グループの主力事業であるPDP用光学フィルター製品におきまして、地上波デジタルの充実や北京オリンピック等による大画面薄型テレビへの注目の高まりを背景に、当初の見込みより需要が大幅に増大いたしました。当社グループでは、全社を挙げて顧客ニーズに対応し、同事業の工程自動化や生産効率の向上等を行った結果、業績予想を上回る差異が発生いたしました。

### TOPICS:4

#### 証券アナリスト向け説明会を開催

【日時】平成20年11月21日(金) 13:00～  
【会場】野村證券日本橋本社(東京・中央区)  
証券会社、証券アナリストの皆様にお集まりいただき、平成21年3月期第2四半期決算説明会を開催しました。

### TOPICS:5

#### 「日経IRフェア2009春」に出展いたします

2009年2月に開催予定の「日経IRフェア2009春」(日本経済新聞社主催)に出展いたします。2008年夏に開催された「日経IRフェア2008」では、期間の3日間で約1万4000人の来場者があり、多くの個人投資家で賑わいました。

【開催日】平成21年2月28日(土)

【会場】六本木ヒルズ森タワー40F

六本木アカデミーヒルズ(東京・港区)

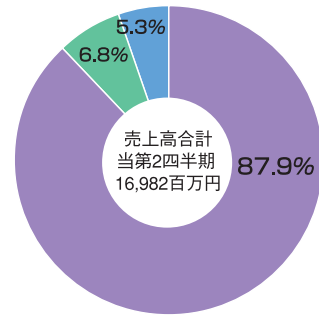
## 事業の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界の金融市場の混乱に依然として歯止めがかからず、雇用や消費等、实体经济へとその影響が波及しつつあり、わが国においても輸出の減少や資源価格の高止まりによるコストの上昇等により企業収益の悪化が懸念され、景気の減速感が一層強まってまいりました。

このような状況の中、当社グループの関連市場であるフラットパネルディスプレイ市場の動向は、地上波デジタルの充実や北京オリンピック等による大画面薄型テレビへの注目の高まりを背景に、堅調に成長いたしました。また洞爺湖サミットでは、温室効果ガス削減について話し合わせ、太陽光発電等のクリーンエネルギーに対する注目もますます高まっております。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、PDP用光学フィルター製品の受注が堅調に推移したことが主な要因で、売上高が16,982百万円、営業利益が751百万円となりました。また、経常利益が732百万円、四半期純利益が373百万円となりました。

なお当第2四半期連結累計期間の業績結果は、平成20年5月16日に発表いたしました連結業績予想を上回っておりますが、今後の経済動向が不透明であり、受注数量の確定的な予測が困難であるため、現時点における通期の業績予想に変更はありません。



### セグメント別売上高構成

当第2四半期  
 …フラットパネルディスプレイ部門  
 …クリーン・エコエネルギー部門  
 …メカテクノロジー・その他部門

### フラットパネルディスプレイ部門

当社グループの主力事業であるPDP用光学フィルター製品につきましては、地上波デジタルの充実や北京オリンピック等による大画面薄型テレビへの注目の高まりを背景に、需要が大幅に増大いたしました。当部門では、全社を挙げて顧客ニーズに対応し、同事業の工程自動化や生産効率向上等を行い、大きく業績に貢献いたしました。この結果、売上高14,935百万円、営業利益801百万円となりました。

### クリーン・エコエネルギー部門

世界的な環境意識の高まりにより、太陽光発電市場は、より活性化しており、当部門はシリコン原材料の調達に積極的に取り組み、生産稼働率の向上を図るとともに業績の向上に努めました。この結果、売上高1,150百万円、営業損失78百万円となりました。

### メカテクノロジー・その他部門

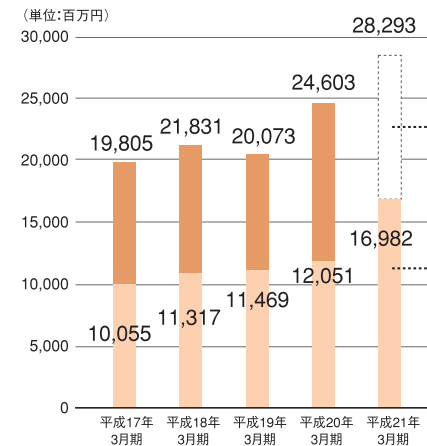
当部門の産業機械事業につきましては、社内設備への対応を中心に活動した結果、費用が拡大いたしました。また、商事事業及び物流事業は当初の見込みのとおり推移いたしました。この結果、売上高896百万円、営業利益17百万円となりました。

### セグメント別売上高（連結）

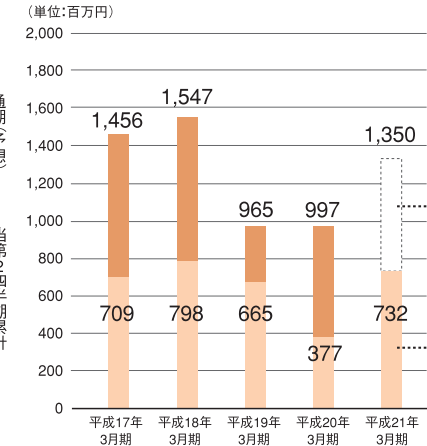
セグメント	第27期（当第2四半期連結累計期間）		第26期（前第2四半期連結累計期間）	
	売上高（百万円）	構成比（%）	売上高（百万円）	構成比（%）
フラットパネルディスプレイ部門	14,935	87.9	10,497	87.1
クリーン・エコエネルギー部門	1,150	6.8	748	6.2
メカテクノロジー・その他部門	896	5.3	806	6.7
合計	16,982	100.0	12,051	100.0

## 業績・財務ハイライト

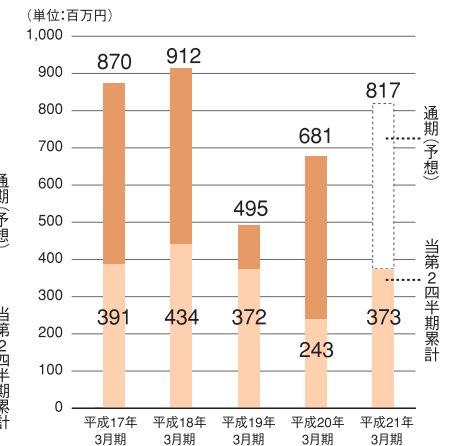
### 売上高



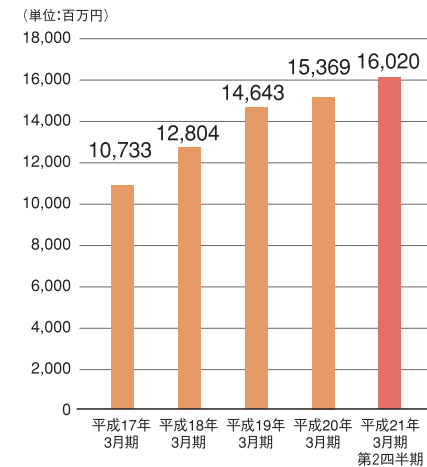
### 経常利益



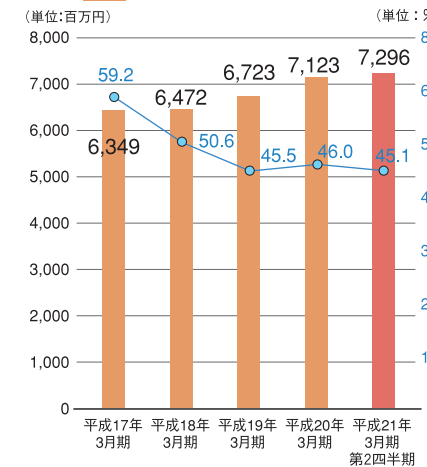
### 純利益



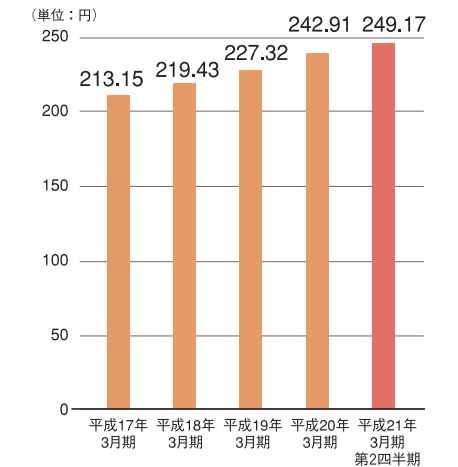
### 総資産



### 純資産・自己資本比率



### 一株当たり純資産



※当社は平成17年12月26日付で、株式1株につき3株の分割を行っております。そのため、平成17年3月期の1株当たりの純資産につきましては、週及修正を行った場合の数値を参考に記載しております。

## 連結財務諸表

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

### 第2四半期 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	8,716,385	8,092,381
現金及び預金	3,032,336	2,981,285
受取手形及び売掛金	4,402,004	3,679,605
たな卸資産	1,131,796	1,291,628
その他	150,247	139,861
固定資産	7,303,617	7,277,195
有形固定資産	6,799,753	6,766,330
無形固定資産	4,651	4,978
投資その他の資産	499,212	505,886
繰延資産	140	186
資産合計	16,020,142	15,369,763

(単位：千円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	7,111,239	6,224,580
支払手形及び買掛金	3,221,206	2,847,393
短期借入金	2,213,256	1,719,256
1年以内返済予定の長期借入金	750,000	750,000
未払法人税等	367,939	262,885
賞与引当金	31,981	29,301
その他	526,856	615,743
固定負債	1,612,602	2,022,105
長期借入金	1,530,690	1,911,318
退職給付引当金	1,116	617
その他	80,796	110,170
負債合計	8,723,841	8,246,686
(純資産の部)		
株主資本	7,174,762	7,000,146
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,440,803	2,440,803
利益剰余金	3,396,329	3,197,355
自己株式	△ 662,378	△ 638,019
評価・換算差額等	55,707	62,344
少数株主持分	65,831	60,585
純資産合計	7,296,300	7,123,076
負債純資産合計	16,020,142	15,369,763

### 第2四半期 連結損益計算書

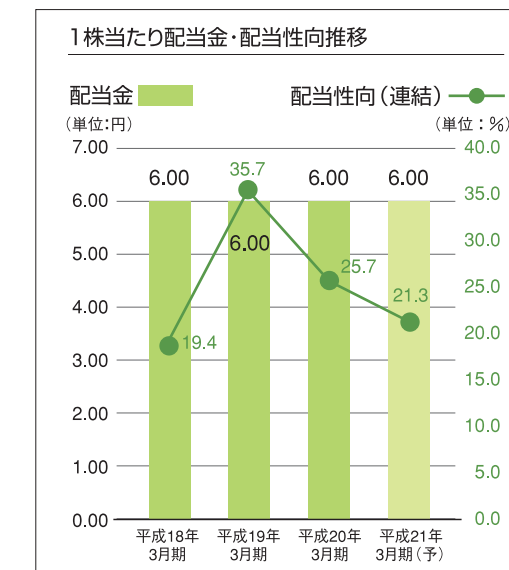
(単位：千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
売上高	16,982,936	12,051,957
売上原価	15,581,047	11,065,245
販売費及び一般管理費	649,890	656,323
営業利益	751,999	330,388
営業外収益	22,176	78,192
営業外費用	41,428	31,121
経常利益	732,747	377,459
特別利益	—	120,000
特別損失	86	—
税金等調整前四半期純利益	732,661	497,459
法人税、住民税及び事業税	354,531	235,640
法人税等調整額	△ 540	15,594
少数株主利益	5,245	2,357
四半期純利益	373,424	243,866

(注)

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されました。適用される会計基準や用語等が、当第2四半期に係る財務情報と前年同期に係る財務情報との間で異なりますが、当報告書においては数値の比較がしやすいよう、主要な財務項目は並べて記載することといたしました。前年同期に係る数値やグラフは参考データとしてご確認ください。

### 配当について



当社は、財務体質の一層の充実と将来の事業拡大のための内部留保の確保を念頭に、資金状況、財務状況及び配当性向等を総合的に勘案し、業績に応じた利益配分を行っていく方針です。

毎年の配当金につきましては、各年度で必要とする内部留保のレベルにもよりますが、長期保有していただく株主の期待に応えるため、安定的かつ継続的な配当を実施いたします。

この方針のもと、当期の1株当たりの年間配当金につきましては6円を予定しております。

## 会社情報

### 会社概要 (平成20年9月30日現在)

商号	フジプレミアム株式会社 Fujipream Corporation (英)
本社所在地	兵庫県姫路市飾西38番地1
設立	昭和57年4月14日
代表者	代表取締役社長 松本 實藏
資本金	2,000百万円
事業内容	PDP用光学フィルター関連事業 光学製品関連事業 太陽光発電関連事業 生産技術システム関連事業 他
従業員数	599名(連結・臨時雇用含む)
営業所及び工場	本社 姫路工場 播磨テクノポリス光都工場/研究所/PV工場 東京オフィス
連結対象となる子会社	フジサンエナジー株式会社(設立 平成13年4月) 上海不二光学科技有限公司(設立 平成15年9月) フジプレミアム商事株式会社(設立 平成18年6月) イマクル株式会社(設立 平成15年10月)
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行

### 取締役及び監査役 (平成20年6月27日現在)

代表取締役社長	松本 實藏
取締役副社長	松本 守雄
取締役副社長	田頭 未徳
代表取締役専務	牛尾 哲之
専務取締役	原 一雄
取締役	松本 春代
取締役	大川 拓志
取締役	池田 尊士
取締役	松本 倫長
取締役	澁谷 尚
取締役	山本 良徳
取締役	小河 昌之
取締役	藤田 和也
取締役	片岡 智彦(社外)
常勤監査役	松本 毅(社外)
監査役	福田 雄二(社外)
監査役	石見 健三

## 株式情報

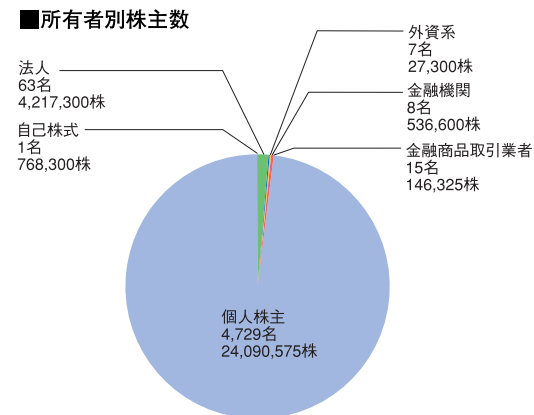
### 株式の分布状況 (平成20年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	105,000,000株
発行済株式の総数	29,786,400株
株主数	4,823名

### 大株主の状況 (平成20年9月30日現在)

松本 實藏	15,130,700株
松本 庄藏	1,854,000株
東レ株式会社	1,560,000株
旭硝子株式会社	936,000株
リンテック株式会社	936,000株
フジプレミアム株式会社	768,300株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	480,600株
ジェイアンドエム株式会社	475,500株
松本 倫長	408,300株
松本 春代	360,000株

### 株式分布状況 (平成20年9月30日現在)



姫新線(きしんせん)は、兵庫県姫路市の姫路駅から岡山県新見市までを結ぶJR西日本の路線。全線単線で非電化のディーゼル車両は、鉄道ファンには有名です。のんびり列車にゆられながら、自然豊かな沿線の風景を楽しむもよし、途中下車して街並みを散策するもよし。意外な発見があるかもしれません。

## 播磨探訪:VOL.14「姫新線」を楽しむ

●至新見(しゅうえんてい)  
高台にあり瀬戸の島々を一望できます。

●龍野城  
春には桜が白い城壁によく映える絶好のお花見ポイントにもなります。

●ヒガシマル醤油工場  
醤油の製造工程が見学ができます。

●うすくち龍野醤油資料館  
播磨地域で伝統的に製造され、関西の薄味を支えるうすくち醤油の歴史や製造道具等を公開しています。

●損保の糸資料館  
そうめんの歴史やそうめん延ばしの実演を見学できます

たつのは古くから醤油の産地として有名です

タケノコの里で知られています

フジプレミアム本社の最寄り駅です

[ 姫新線データ ]  
路線距離(営業キロ):158.1km  
駅数:36駅  
1日の利用客:1万3100人